

ボディーカバー・肩カバー交換手順書 (1/1)



注意

カバー交換を行う際には必ず電源を切り、スチームを止めてコテ面が十分に冷めてから作業を行ってください。冷めずに作業を行いますと火傷のおそれがあります。

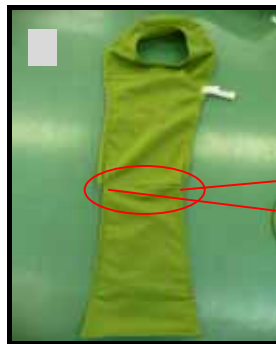
ボディーカバー取り付け手順

から順番に作業を進めてください。

取り付け完了・前



注: ボディーカバーの紐を、全体的に少し引いておきますと付けやすくなります。
ネック部に ボディーカバーを被せる。
ボディーカバーの後部のふち布を引っ掛けた後、前裏側にあるふち布を、前下角に引っ掛ける。
ボディーの形に紐を絞っていき、胸部にある紐を、右側から左にあるループに通しマジックテープで止める。



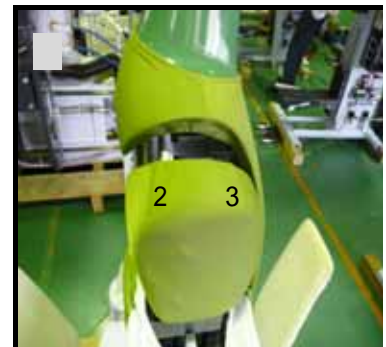
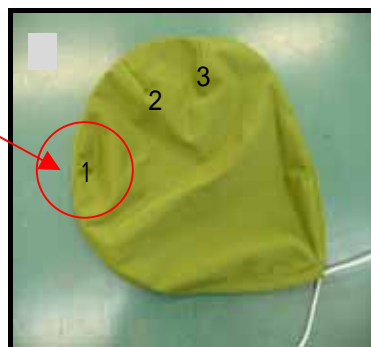
取り付け完了・後



肩カバー取り付け手順

注: 肩カバーには左右があります。
肩カバーにはタックが3箇所ありますが、一番小さいタック(1)を、後側の一番出ている所に合わせる。
のように合わせると、(2)・(3)が上側にくる。
最後に肩の形に合わせ紐を絞り、余分なしわを整えて終了。

注: 紐は前下になります。



管理番号	SP-DF-UC-J-1		適応機種	発行者	三幸社 SANKOSHA
日付	2008年10月	REV 1	DF-050-V2/V3/ADF-050/CN-50/WF-050	降矢	

カバー・マット交換手順

注意

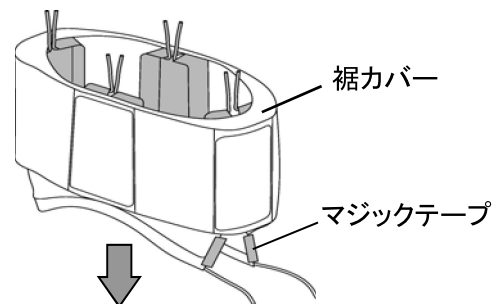
カバー・マットを交換する際には、必ず電源を切り、スチームを止めて機械が完全に冷めたことを確認の上、作業を行ってください。
冷め切らないまま作業を行うと、火傷などのケガをするおそれがあります。

お願い

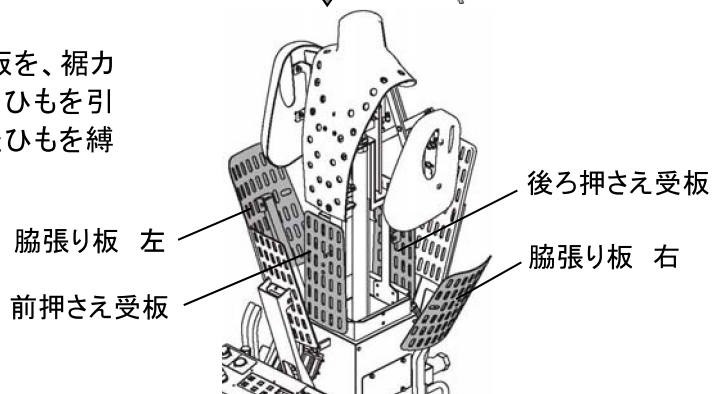
仕上がり品質を良くするため、カバーは当社純正のものをご使用願います。

1. 裾カバーの取り付け

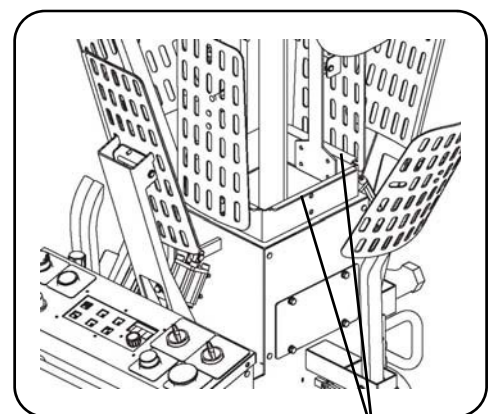
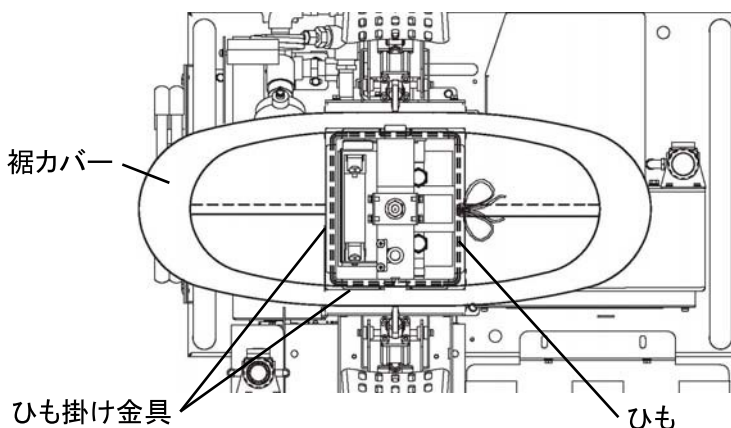
- (1) 裾カバーを本体に被せて、カバーの底面に取
り付けてある左右のマジックテープを止めてく
ださい。



- (2) 前後の押さえ受板と左右の脇張り板を、裾カ
バーの内側に縫い付けたカバーのひもを引
いて、均等に包み込むようにした後ひもを縛
ってください。



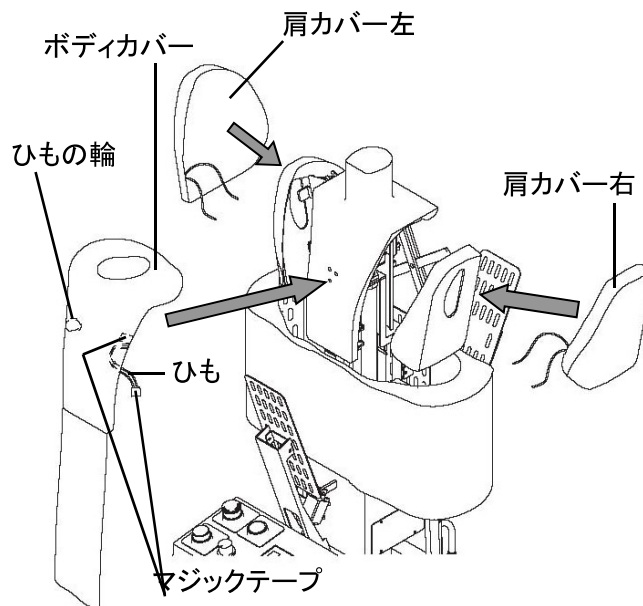
- (3) 裾カバー下の部分のひもを引いて、本体のへりのひも掛け金具の下にひもが入り込むようにして、
送風が漏れないように縛ってください。



ひも掛け金具

2. ボディカバー取り付け

- (1) 左肩部に肩カバー左を被せて、ひもを引いてカバーにしわが出ないようにして、ひもを縛ってください。
- (2) 右肩部に肩カバー右を被せて、ひもを引いてカバーにしわが出ないようにして、ひもを縛ってください。
- (3) ボディカバーをボディに取り付けます。
 - ① ボディのふちにボディカバーが引っ掛かるようにして、ひもを引いてください。
 - ② 引いたひもをボディの後ろ側へ回して、ボディカバーに付いているひもの輪を通して、折り返したひもをボディの後ろ側にて、マジックテープで固定してください。



3. 前押さえ・後押さえマット及びカバー取り付け

- ① 前・後の押さえカバーにマットをセットして、そのまま前押さえ板または後ろ押さえ板に被せて表面にしわが出ないようにひもを引いて縛ってください。
(カバーおよびマットは、前後共に共通品です。)

